

季刊

# 博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM  
QUARTERLY

URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

# 107

大河ドラマ特別展「八重の桜」イベント

パネル展

「輝ける会津女性 新島八重を知ろう」

## 福島県立博物館



NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」プレイベント

パネル展

# 「輝ける会津女性 新島八重を知ろう」

会期：平成二五年一月六日(日)～三十一日(木)

エントランスホール (観覧無料)

平成二五年二月一日(金)～五月六日(月) 展示室 (観覧無料)



軍装の新島八重 (同志社大学同志社史資料センター蔵)

平成二五年(二〇一三)NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」(福島展：五月一七日～七月三日)の開催にあたり、事前の周知事業の一環として、平成二四年度中に新島八重に関する写真パネルを作成して館内に展示します。また、歴史講演会を開催します。これらのプレイベントを実施することによって、大河ドラマ放送開始に伴う県民の八重に対する興味・関心を高め、次年度開催の大河ドラマ特別展「八重の桜」開催の予告とします。

なお、八重の生涯を紹介するパネルを展示するほか、関係する資料を展示する場合があります。詳細は、当館のホームページをご覧ください。

## ■主な展示構成

- 一、八重の幼少時代
- 二、会津籠城戦と八重
- 三、八重の兄 山本覚馬
- 四、新島襄夫人としての八重
- 五、八重と洋装 (二月以降、復元ドレスを展示)
- 六、社会のために生きる八重
- 七、晩年の八重

## ■主な関連行事

(一) 大河ドラマ特別展「八重の桜」プレイベント  
歴史講演会①

「時代を駆ける 新島八重の生涯」

講師：会津歴史考房主宰 野口 信一氏

日時：平成二五年一月二十七日(日) 一三時三〇分～一五時

場所：福島県立博物館 講堂



洋装の新島八重 (同志社大学同志社社史資料センター蔵)



同志社女子大学の学生が復元したドレス



篤志看護婦としての新島八重  
(同志社大学同志社社史資料センター蔵)

(二) 大河ドラマ特別展「八重の桜」プレイベント  
歴史講演会2

○第一部 基調講演「資料にみる八重と裏の夫婦像」

講師：同志社大学同志社社史資料センター社史資料調査員

小枝 弘和氏

○第二部 対談「会津と同志社からみた八重像」

講師：小枝 弘和氏

福島県立博物館学芸員 古山 智行

進行：福島県立博物館学芸員 佐藤 洋一

日時：平成二五年二月九日(土)

第一部 一三時三〇分～一四時三〇分

第二部 一四時四五分～一五時三〇分

場所：福島県立博物館 講堂

(歴史担当：佐藤 洋一)

会津仏教会創立百周年記念  
秋の企画展「会津の寺宝」関連行事

○記念講演会

「会津の仏像と仏画 ―鑑賞の極意―」

平成二十四年一〇月七日（日）

福島県立博物館 講堂

「会津の仏像について」

東京家政大学教授 若林 繁氏

「会津の仏画について」

東北大学名誉教授 有賀祥隆氏

今回の企画展に展示されている資料の見どころなどを知っていただくために企画されました。各時代の仏像の様式の特徴や、ジャンルごとの仏画の鑑賞のポイントなどを、豊富なスライドとともにわかりやすく解説していただきました。

○展示解説会

展示解説会

は、会期中に三回行われました。一〇月六日



「磬とは、こうして鳴らすもの」(展示解説会にて)

の解説会には、前日の記念講演会の講師・若林繁氏に飛び入り参加していただき、展示室の仏像について詳しく解説していただきました。企画展最終日の一月二五日の解説会には、会津仏教会会員の寺院の御住職にも加わっていただき、僧侶と学芸員それぞれの視点から展示品の魅力を解説するという、なかなか珍しい企画となりました。

○会津仏教会会員によるイベント

今回の企画展の会期中には、エン

トランスホールや

講堂、ときには体

験学習室や実習室

などを会場として、会津仏教会の

会員の皆さんが

様々な催しを企画

しました。

玄侑宗久氏（芥

川賞作家・三春町

福聚寺住職）によ

る講演「再びの『仏道』」（二〇月二二日）、浦井正

明氏（上野寛永寺現龍院住職）による「天海大僧正

を知る講演会 反骨の僧・天海」（二一月七日）は、

いずれも講堂で行われ、参加者は仏教の歴史に関する

講話に耳を傾けました。

安藤聖一氏による「ひとり人形芝居」（二〇月二

八日）の巧みな操技と話術に感動し、和田至紘・博

多美保子氏による「琵琶の弾き語り」（二一月一日）



エントランスホールに轟いた大音声（大般若経転読）

の音色は深く心に残りました。「法衣ファッションショー」（二一月一七日）では、石井祐聖氏（大正大学講師）の絶妙な解説を通して、僧侶のまとう袈裟の由来や意味などが、よく理解できました。



「こうやって作るんだよ」(腕輪念珠づくり)

お寺の行事や法事などでは見聞きすることのある大般若経の転読や読経・声明などを、今回は会津仏教会会員の皆さんに実演していただき、あらためて音楽性の豊かさや五感に訴える芸能としての質の高さを実感することができました。天台宗・曹洞宗の流派の異なる御詠歌が、一堂に会して奉詠されたことも、たいへん貴重な機会となりました。

体験学習室での坐禅、実習室での写経は、参加者が実際に体験できる内容で、ピンと張りつめた空気のなかで、参加者の皆さんは実技に集中しました。「腕輪念珠づくり」は、家族連れのお客様や子供たちにも人気で、会員の方々の熱心な指導を受けながら、楽しそうに挑戦していました。

バラエティーに富んだ内容の催しが回数を重ね、のべ二千名を超える参加者が集まり、会津仏教会百周年を記念する行事は盛況のうちに終了しました。

（歴史担当：高橋 充）

## イベントレポート

みんな夢中で楽しんだ！  
自然史講座

### 「チリメンモンスターをさがせ！」

#### 開催記

チリメンモンスターがやって来た！ それはまるで、手のひらにのる水族館！

西日本では良く知られた「チリメンモンスター（チリモン）」が、ついに福島県までやって来ました。

みなさん、誰でもチリメンジャコ（シラス干し）を食べたことがあると思います。チリメンジャコはカタクチイワシの子供ですが、このカタクチイワシを獲るときに、さまざまな海の生きものの子どもたちもいっしょに漁獲されます。大阪府岸和田市にある「きしわだ自然資料館・

きしわだ自然友の会」では、カタクチイワシに混じって見つかるともたち（稚魚など）を、「チリメンモンスター」と名づけました。自然史講座「チリメンモンスターをさがせ！」は、



食品としてカタクチイワシだけを選別する前の段階の、混じりものが多い「チリメンジャコ」の中から、さまざまな「モンスター」たちを見つけて出して分類し、名前を付けて、海の生きものを知ろうという、アンビゴ

コロいっばいの体験学習です。

福島県の震災復興応援の気持ちを含めて、「きしわだ自然友の会」の三人の先生が、遠く大阪から講師としてボランティアで駆けつけてくれました。藤田吉広さんはチリモン実習の生みの親。日下部敬之さんは水産研究所で研究するおさかな博士。そして図師宣忠さんはチリモンと海の環境に深い興味を持つ大学の先生。そうそうたるメンバーです。

でも県博は海から離れた会津にあります。海の生きものの講座を開いても、みんな興味を持って来てくれるだろうか？ 参加者募集期間中のそんな心配もすっかり吹っ飛び、当日は定員を大きく超える三九名もの方々に参加していただきました。

講座が始まると、最初に映像資料を使って大阪湾



の漁業について解説してもらいました。そしていよいよ「チリモンさがし」の時間になると、もうみんな夢中です。お皿に播いたチリモンの中から、おもしろいかたちの「モンスター」たちを一匹ずつピンセットでつまみだします。先生に何度もモンスターの名前をたずねる人、もっとへんなモンスターが見つからないかいっしょけんめい探す人、小さなモンスターまでとめていねいに分けてきれいに並べている人…。藤田先生

が、みんなで見つけたモンスターの名前を黒板に書いてくれました。魚のなかま、エビ・カニのなかま、イカ・タコ・貝のなかまなど、全部で三二種類も見つかりました。最後に、チリモンコレクション

カードに、なかま分けしたチリモンたちを糊で貼り付けていきます。こうして「チリメンモンスター実物図鑑」が完成。二時間の実習時間はあっという間に過ぎて行きました。

参加者のみなさん、「楽しくて夢中になる体験学習」の時間を過ごせたのではないのでしょうか。このチリモン講座は、ぜひまた開催したいですね。そしてボランティアで福島までおいで下さった三人の先生方、ほんとうにありがとうございます。

(自然担当：相田 優)



# 新島八重

Q: 今年の大河ドラマは会津が舞台となり、福島県内は大きな盛り上がりを見せていますが、主人公である新島八重はこれまであまり知られていなかったように思います。新島八重とはどんな人物なのでしょう。か。

A: 新島八重は一八四五年（弘化二）一月三日、会津藩の砲術師範を務める山本権八・佐久夫妻の子として生まれました。戊辰戦争の際には、男装して最新式のスペンサー銃を持ち、若松城（鶴ヶ城）に登城し、約一ヶ月間に及ぶ籠城戦を戦っています。それから三年後の一八七一年（明治四）一〇月、京都府に登用されていた兄・山本覚馬を頼って、母・佐久、姪・みね

とともに京都に向かい、女紅場の権舎長兼教導試補を務めました。

夫になる新島襄と出会ったのは一八七五年（明治八）年のことで、翌年一月二日、八重は洗礼を受け、翌三日にキリスト教式の結婚式を挙げています。一八九〇年（明治二三）一月に襄が亡くなった後は、日本赤十字社の正社員となり、日清・日露戦争の際には篤志看護婦として従軍し傷病兵の看護にあたりました。その功績により一八九六（明治二九）年に勲七等宝冠章、一九〇六（明治三九）年に勲六等宝冠章を授与されています。また裏千家に入門し、茶道をこよなく愛しまし

た。一九三一（昭和七）年六月一日、京都の自邸（現在の新島旧邸）で八六年の生涯を閉じています。江戸、明治、大正、昭和と四つの時代の中で、常に社会をリードしたその生き方は、現代に生きる私たちもたくさんのお話を学ぶことができるのではないのでしょうか。

Q: 新島八重が生まれた場所はどこですか。

A: 八重が生まれた山本家は、若松城の西側に位置する米代四之丁（よねだいのちよう）にあります。今の会津若松市米代二丁目です。かつては武家屋敷街でしたが、現在は住宅街になっています。同地区内には「山本覚馬・新島八重生誕の地」の碑が建てられていて、表面に会津藩が降



山本覚馬・新島八重生誕の地碑

伏した日の夜に、八重が城内の白壁に筭で刻んだといわれる和歌「明日の夜は何国の誰かながむらん なれし御城に残す月かげ」が記してあります。実際に生家があったのはこの碑から西側に約五

Q&A  
回答者  
歴史分野  
古山 智行

〇mの場所で、案内板が建てられています。

Q: 新島八重を取り上げたパンフレットや書籍、街中ののぼりなどで「ハンサムウーマン」という言葉をよく目にします。なぜ、八重は「ハンサムウーマン」と称されるのですか。

A: 襄が渡米していた時に援助を受けていたのがA・ハーディー夫妻です。そのスーザン夫人に宛てた一八七五年（明治八）一月三日付の手紙の中で、襄は婚約中であった八重のことを次のように紹介しています。

「Of course she is not handsome at all. But what I know of her is that she is a person who dose handsome. It is just enough for me. (もちろん、彼女は少しも容姿が美しくありません。しかし、私が彼女について知っているのは、彼女が美しい行いをする人間だということです。私にはそれだけで十分です。)」

八重の人間性を高く評価したものであり、これが「ハンサムウーマン」という言葉の基になっています。

Q: 福島県立博物館では新島八重に関する企画展を開催しないのですか。

A: 五月から大河ドラマ特展「八重の桜」を開催します。詳しくは本誌七頁をご覧ください。



「会津城中烈婦和歌ヲ遺スノ図」(二)『佳人之奇遇』(東海散士) 福島県立博物館蔵

テーマ展「常磐炭田の歴史」

会 期：平成25年1月22日(火)～3月31日(日)  
 会 場：常設展示室総合展示「自然と人間」

第二次大戦後の日本の経済復興を支えた常磐炭田。いわき市内郷在住の永山<sup>わたる</sup> 宣さんからいただいた炭鉱関係の資料をもとに、炭鉱の盛況ぶり、炭鉱で働いた人々の生活や文化を紹介します。(自然担当 竹谷陽二郎)



コールピック



ヘルメット

NHK大河ドラマ特別展 予告

八重の桜

平成二五年(二〇一三)NHK大河ドラマ「八重の桜」の放送に関連いたしまして、特別展「八重の桜」を開催することとなりました。

NHKでは平成七年より、大河ドラマの放送にあわせ、番組に関係する貴重な文化財や歴史資料などを通じ、我が国の歴史や文化を紹介する展覧会を開催しています。

今回の特別展「八重の桜」におきましては、戊辰戦争前後の会津時代から京都での活躍の時代まで、新島八重ゆかりの品々や同時代の資料を紹介します。戊辰戦争の敗戦から立ち上がる人々の姿を通して、復興へのメッセージを伝えていきます。

開催にあたっては、東京展、福島展、京都展の順に巡回します。



結婚したばかりの妻と八重  
 (同志社大学同志社社史資料センター蔵)

- 【東京展】 二〇一三年三月二日(火)～五月六日(月・休) [五〇日間]  
 東京都江戸東京博物館
- 【福島展】 二〇一三年五月一七日(金)～七月三日(水) [四六日間]  
 福島県立博物館
- 【京都展】 二〇一三年七月三日(土)～九月一日(日) [四六日間]  
 京都府京都文化博物館

テーマ展

※常設展料金でご覧になれます

- 「ふるさとの考古資料3 館蔵『9人のコレクション』展」  
会期 平成24年6月5日(火)～平成25年5月12日(日)  
「吉祥」  
会期 平成24年12月22日(土)～平成25年1月27日(日)  
「常磐炭田の歴史」  
会期 1月22日(火)～3月31日(日)  
「東神指の彼岸獅子」  
会期 3月6日(水)～5月6日(月)

ポイント展

常設展料金でご覧になれます

- 「郡山市熱海遺跡の縄文土器」  
会期 平成24年7月24日(火)～平成25年3月3日(日)  
「相双地方の旧石器」  
会期 平成24年9月11日(火)～平成25年3月3日(日)  
「新発見!弥生時代の木の道具」  
会期 平成24年10月16日(火)～平成25年3月3日(日)  
「古墳時代の象嵌技術」  
会期 平成24年11月13日(火)～平成25年3月3日(日)  
「こたつがけ」  
会期 平成24年12月5日(水)～平成25年1月23日(水)  
「小さな雛祭」  
会期 2月20日(水)～4月3日(水)

平成24年度福島県立博物館館長赤坂憲雄プレゼン「真冬の学習」

「特集被災地の文化財レスキュー」

- ◎「被災地の民俗芸能と復興」  
日時 2月16日(土) 13時30分～15時30分  
会場 福島県立博物館講堂  
ゲスト 民俗芸能学会被災調査団 懸田弘訓さん  
聞き手 館長 赤坂憲雄
- ◎「福島 警戒区域内の博物館と文化財」現状と課題」  
日時 3月7日(木) 13時～17時30分  
会場 福島県立博物館講堂  
基調講演 館長 赤坂憲雄  
報告 大熊町教育委員会 富岡町教育委員会 双葉町教育委員会

木曜の広場

- 「老嫗茶話」を読む10  
日時 1月17日(木) 13時30分～15時  
会場 福島県立博物館講堂  
講師 館長 赤坂憲雄
- 「老嫗茶話」を読む11  
日時 2月28日(木) 13時30分～15時  
会場 福島県立博物館講堂  
講師 館長 赤坂憲雄
- 「老嫗茶話」を読む12  
日時 3月14日(木) 13時30分～15時  
会場 福島県立博物館講堂  
講師 館長 赤坂憲雄

講演・講座

※は要申込

- ◎考古学講座  
※勾玉・ガラス玉を作ろう  
日時 3月2日(土) 13時～16時  
会場 福島県立博物館実習室  
講師 学芸員 田中 敏

後援・共催事業

- 福島こどものみらい映画祭 移動映画上映会  
「ONE PIECE THE MOVIE」  
「エピソードオブチョッパー 冬に咲く、奇跡の桜」  
日時 1月26日(土) 10時、13時30分  
会場 福島県立博物館講堂
- 日本映像民俗学の会福島会津大会  
日時 3月9日(土) 13時、3月10日(日) 10時30分  
会場 福島県立博物館講堂

2013大河ドラマ特別展

「八重の桜」プレイベント

- パネル展「輝ける会津女性 新島八重を知ろう」  
会期 1月6日(日)～1月31日(木)  
場所 福島県立博物館エントランスホール  
会期 2月1日(金)～5月6日(月)

場所 福島県立博物館企画展示室特設コーナー  
歴史講演会1「時代を駆ける 新島八重の生涯」  
日時 1月27日(日) 13時30分～15時  
場所 福島県立博物館講堂

- 講師 会津歴史考房主宰 野口信一さん  
歴史講演会2  
第一部 基調講演  
「資料にみる八重と妻の夫婦像」  
講師 同志社大学同志社史資料センター 史資料調査員 小枝弘和さん  
第二部 対談  
「会津と同志社からみた八重像」  
講師 小枝弘和さん  
進行 福島県立博物館学芸員 古山智行  
日時 平成25年2月9日(土)  
第一部 13時30分～14時30分  
第二部 14時45分～15時30分  
場所 福島県立博物館講堂

会津・漆の芸術祭2012  
フォーアアップイベント

※は要申込

- 会津・漆の芸術祭市民フォーラム1  
ダイレクタートーク  
「博物館が目指したこと」  
日時 1月17日(木) 15時30分～16時  
場所 福島県立博物館講堂  
講師 館長 赤坂憲雄  
フォーラム  
「芸術祭が残したものーみんなの芸術祭へー」  
日時 1月17日(木) 16時10分～18時  
場所 福島県立博物館講堂
- ※続・漆のお手紙プロジェクトワークショップ(第1回)  
日時 1月20日(日) 13時30分～15時30分  
場所 福島県立博物館実習室  
講師 漆作家 山中早苗さん
- ※続・漆のお手紙プロジェクトワークショップ(第2回)  
日時 2月10日(日) 13時30分～15時30分  
場所、講師は第1回と同じです。
- ※続・漆のお手紙プロジェクトワークショップ(第3回)  
日時 3月3日(日) 13時30分～15時30分

やさしい展示解説

- ※展示解説員による常設展総合展示の案内です。
- ※毎週土曜日、日曜日の10時30分と14時から30分ほど行います。

※要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集を開始しますが、異なる場合もありますのでお問い合わせください。  
※その他、行事等の詳細につきましては、月行事予定やホームページをご覧ください。

1月～3月の休館日

- 1月1日(火)～4日(金)・7日(月)・15日(火)
- 21日(月)・28日(月)
- 2月4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)
- 3月4日(月)・11日(月)・18日(月)・21日(木)・25日(月)

予告

2013年NHK大河ドラマ特別展

# 八重の桜

2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」【福島展】  
会場 福島県立博物館企画展示室他  
会期 2013年5月17日(金)～7月3日(水)  
主催 福島県立博物館 NHK福島放送局 NHKプラネット東北